<インストール中に、特定の.exeファイルを実行する>

注) このドキュメントは、InstallShield 2015 Premier Edition を基に作成しています。InstallShield 2015 以外のバージョンでは 設定名などが異なる場合もあります。

概 要

MSI プロジェクトではカスタムアクションを使用して、.exe ファイルを実行させることができます。

インストール中に .exe ファイルをキックしたり、メモ帳で Readme ファイルを表示したりできます。EXE の実行時に、コマンド ライン引数を渡すことも可能です。

A. メモ帳でReadmeを表示する

セットアッププログラムによってインストールされた Readme ファイルを、WindowsFolder ディレクトリにある Notepad.exe で起動するカスタムアクションを作成します。

1. [インストール デザイナー] タブで、あらかじめ [INSTALLDIR] に Readme.txt をインストールするコンポーネントを 追加しておきます

□	ファイル				
 → MainProgram ← Readme ○ 27/ル ○ 27/μ ○	名前	サイズ	リンク先	更新日時	ファイル
	16 /Ÿイト	<pre><path_to_tes< pre=""></path_to_tes<></pre>	2015/12/18 13:	readme.txt	

 2. 【動作とロジック】 – 【カスタム アクションとシーケンス】ビューにて、【カスタム アクション】を右クリックして【新しい EXE】 – 【ディレクトリを参照するパス】を選択します

■… 🛅 インストール情報	👘 👘 👘	ム アクション	カスタム アクション	7	
由… [m] 編成 由… [m] アプリケーション データ	 ■ ■ アグ ■ ■ ↓ シー 	<u> </u>	ション ウィザード(C)…	Ins	能をインストールに柔軟に追加できるよう設計されています
		新しい InstallS	Script(N)		実現できます。InstallShield は、数種のカスタム アクション
		新しい EXE(E)		۱.	Binary テーブルに保存(S)
		新しい標準 DL	L(S)	۱.	ディレクトリを参照するパス(P)
	€-f	新しい MSI DL	.L(M)	+	製品と共にインストール(I)
		新しいマネージ	ジコード(A)	+	プロパティ値のパス(V)
		新しいプロパテ	⁼ィの設定(P)		ションは、次のプロジェクトの種類で使用できます基本の
	÷-4	新しいディレク	7トリの設定(D)		ベース、MSM データベース、トランスフォーム
■		新しいネストト	4SI(W)	+	を呼び出す。 ドバンは「たのプロジェクトの新潟で使用できます・基本の」
_		新しい VBScrip	pt(V)	•	目にまかれた DII にある関数を呼び出す。
		新しい JScript	(J)	+	イントには、必ず定義済みパラメーターおよび戻り値が必要
		新しいエラー			ションは、次のプロジェクトの種類で使用できます:基本の「 ベース MSM データベース トランスフォーム
		新しいプロセス	くの強制終了(K)		たは C# などのマネージ コードで書かれた。マネージ アセ
		新しい PowerS	Shell	+	袖については、「マネージ」アセンブリのパブリックメソッドを呼 ドゥンイナーンをのプロジェクトの種類で使用できます基本の
		すべてのカスタ	ッム アクションを表示(H)		
				נטעור כי	コパティを設定する。

3. 新規追加されたカスタムアクションの名称を「caLaunch_readme」にします

4. [caLaunch_readme]を選択して、右のウィンドウにて以下の設定を行います

作業ディレクトリ	WindowsFolder
ファイル名とコマンドライン	Notepad.exe "[INSTALLDIR]Readme.txt"
スクリプト内実行	即時実行
インストール UI シーケンス	ExecuteAction の後
インストール UI 条件	(not Installed) And (UILevel = 5)
	※「初回インストール時、かつ サイレントインストールでない場合」という条件

5. ビルドして実行すると、初回インストール時に Readme ファイルが表示されます

B. インストール時のみ使用する .exe を実行する

.exe ファイルをインストール中に実行させたいが、ターゲットシステムにはそのファイルをインストールしたくないという場合がありま す。その場合、インストール中のみ展開されるサポートファイルが利用できます。サポートファイルは、インストール時に SUPPORTDIR プロパティのパスへ展開されます。サポートファイルに配置した .exe を実行する方法を紹介します。

- 1. [動作とロジック] [サポート ファイル] ビューにて、[言語費依存] ノードを表示します
- 2. [ファイル] ペインを右クリックし、 [ファイルの挿入] から .exe ファイルを選択します



3. 【動作とロジック】 – 【カスタム アクションとシーケンス】 ビューにて、 【カスタム アクション】 を右クリックして 【新しい EXE】 – 【ディレクトリを参照するパス】を選択します

通…(̄) インストール情報	📗 📺 🎦 📩	アクション カスタム アクション		_
由・	● ■ アグ: ● ■ シー	カスタム アクション ウィザード(C)	Ins	ALL インコート、ロバー子また(-2月10万)をスート2月2日とわ アハユオ
□ □ □ システム構成		新しい InstallScript(N)		能をインストールに来取し返加してきるよりまたころもしいよう 実現できます。InstallShield は、数種のカスタム アクション
副・ (□) サーバー構成 □(□) 動作とロジック		新しい EXE(E)	۱.	Binary テーブルに保存(S)
InstallScript		新しい標準 DLL(S)	۰.	ディレクトリを参照するパス(P)
		新しい MSI DLL(M)	+	製品と共にインストール(I)
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		新しいマネージ コード(A)	+	プロパティ値のパス(V)
		新しいプロパティの設定(P)		ションは、次のプロジェクトの種類で使用できます基本のI
⊕ ─── ユーザー インターフェイス		新しいディレクトリの設定(D)		ベース、MSM データベース、トランスフォーム
■		新しいネスト MSI(W)	+	ションは、次のプロジェクトの種類で使用できます、基本の!
		新しい VBScript(V)	•	目に書かれた DLL にある関数を呼び出す。
		新しい JScript(J)	+	イントには、必ず定義済みパラメーターおよび戻り値が必引
		新しいエラー		ションは、次のプロジェクトの種類で使用できます:基本の I ベース: MSM データベース: トランスフォーム
		新しいプロセスの強制終了(K)		たは C# などのマネージ コードで書かれた、マネージ アセン
		新しい PowerShell	+	細については、「マネージーアセンブリのパブリック・メソッドを呼
		すべてのカスタム アクションを表示(日)		「ションは、ハのションエンドの理想に反用してより一型本の」
	_	in troperty	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	コパティを設定する。

4. 新規追加されたカスタムアクションの名称を「caLaunch_EXE」にします

5. [caLaunch_EXE]を選択して、右のウィンドウにて以下の設定を行います

作業ディレクトリ	SystemFolder
ファイル名とコマンドライン	[SUPPORTDIR]¥TestApp.exe
	※ .exe ファイルは手順 2 で追加したファイル
スクリプト内実行	即時実行
インストール UI シーケンス	CostFinalize の後
	※例として、「ようこそ」ダイアログが表示される前に設定
インストール UI 条件	not Installed

6. ビルドして実行すると、「ようこそ」ダイアログの前に EXE が実行されます

以上